

6月24日自治会長連絡協議会意見交換会 1班要点録

阪急B住宅地、柴田団地、水無瀬門ノ内、三晃住宅、五五九の会、共同荘園、ヘーベルA、
広瀬南、阪急C、広瀬

- (1) テーマ1 自治会の役割とは
- (2) テーマ2 自治会役員の負担軽減について
- (3) テーマ3 構成員の高齢化、自治会未加入者について
- (4) テーマ4 地域の課題について

1班では、テーマに区切られずに総合的な意見交換を行った。

共同荘園：現在共同荘園は、25世帯の小規模な自治会となっている。以前、世帯ではなく個人で自治会に入りたいという方がおられた。結局、その方は自宅で亡くなられたが自治会に入っていたことで、救急車を呼ぶなどの対処ができた。どういう人が自治会に入られていて、気をかけるべきことは何かなど、近所のコミュニケーションが重要と感じている。

ヘーベルA：事前に配布されたアンケートを確認したが、役員の負担、高齢化、未加入者への対応などこの自治会も同じ課題となっており、対策が記載されていない。ヘーベルA自治会も次の自治会長がいないなどの問題が起きている。課題の抽出はすでにある程度できているので、課題への対策を具体的に進めるべきではないか。行政が課題とその対策について整理すべき。動画にもあったように、転入者への自治会の加入案内などは行政が行ってほしい。自治会加入促進のため、若い人が集えるアンテナショップや老人が集えるコミュニティを自治会と絡めて作るなど行政がリードして行えないか。

ヘーベルA：ヘーベルA自治会には、若い人も単身者もいる。ビンゴゲームなど地域振興活動を行うと来られる方は喜ばれる。来られない方をどうするかを整理する必要がある。現在自治会を解散することも考えている。自治会長連絡協議会に入る自治会要件なども見直すべきではないだろうか。

広瀬南：自治会は、防災の面が重要だと考えている。一度、解散し繰越金も東日本大震災の被災地に寄付するなど精算したが、やはり防災面などで重要だと考え再結成した。マンションなど新しい住人に自治会勧誘したが、学校の子供会で賄えるなどで断られた。広瀬南としては、何かあった時のための共助として自治会が重要と考えている。

ヘーベルA：自治会は防災、防犯の関心が高い。自主防災会と自治会を連携するシステムを構築してはどうか。防災を中心した組織改変して役員なども兼務出来ればいい。役員LINEの構築など、行政が主体となってやってほしい。

水無瀬門ノ内：キーワードとしては防災ではないか。自治会を防災中心とした組織作りに変えていってはどうか。入会のきっかけとしても、明確な目的を打ち出せる。

柴田団地：住んでいる環境で自治会の役割は違う。防災活動はどこでも重要であるが、共通するのは親睦、横のつながりが一番でないかと思う。それが、防犯にも福祉にもつながる。日常的に横のつながりを大切にしていけば、役員不足なども解消できるのではないか。

三晃住宅：三晃住宅自治会は、80代の人が多くいる。各班に分けて班長を輪番制にしているが、自分が班長になる前に自治会を辞める人たちも増えてきている。ゴミの関係や福祉の関係でも自治会の参加に差はなくメリットが思いつかない。昔は、子ども会が盛んでメリットがあった。

ヘーベルA：自治会に入っていない人とコミュニケーションをとる機会がない。行政が各々の自治会でやっている音楽ライブなどを集約し、いろいろな参加できるメニューを各自治会に提示して、自治会とタイアップさせて参加者とコミュニケーションが取れるようなシステムを作ればどうか。

ヘーベルA：今後自治会を継続していくためには、編成替えも必要なのではないか。自治会がなくなってしまうよりいいのでは。

柴田団地：合併は、自治会それぞれの環境があつて難しいのでは。自治会同士が似ているような状況なのであれば考えられるが。

ヘーベルA：行政が自治会に入れば、地域通貨券を配付するなどメリットを提示してはどうか。

共同荘園：若い人たちは、地域通貨券を配付するからといって自治会に入ってもらえるようなことはないのでは。

柴田団地：そもそも自治会にメリット、デメリットを考えるものではない。個人としてメリットがあるものでもない。

ヘーベルA：しかし、自治会に入るきっかけ作りには重要。メリットが少ないとはいえ、何か提示できるものがないと。合理的な社会の昨今では、義理人情で自治会に入ってもらうのは難しい。

以前まで実施していた町の体育大会がなくなった。時代に合わせたものだと思うが、それであれば、そのリソースを自治会の振興に充ててアンテナショップなど時代に合わせた事業を実施することはできないか。

ヘーベルA：自主防災組織を立ち上げる時に最大100万円の補助金が出るなど自治会は知らないことが多い。防災と繋げるとしても自治会に周知する必要がある。

広瀬南：総会の資料作成はどのように行っているか。

⇒小規模自治会は、会長。規模が大きい自治会は手分けして作っている。

ヘーベルA：自治会の条件として、会計監査がある、総会をする必要があるなどでそれらの作業を会長が全てやっているため、次に続く人がいない。緩い制度として、準自治会などになれないか。

広瀬南：ゴミに関しては、広瀬南では自治会を必要としていない。居住者が全員負担してやっている。ただし、負担金の徴収などを自治会がやっていたりして、負担となっている。これに関しては、自治会がない方がスッキリすることもある。

阪急B：行政として、自治会がどうなってほしいのか方針を示してほしい。

ヘーベルA：アンケートの末尾には情報を収集して、共有を図り、還元するなどとしている。課題については、すでに整理できているので行政は、課題解決のために具体的に取組を進めてほしい。

興味のあるポイントはピックアップすると防災をテーマに自治会の連携を図っていけるのではないか。自治会の横のつながりを図れるパッケージを作ってほしい。

(行政補記)

自治会やその支援の在り方については、ご意見の内容や今後自治会長連絡協議会理事会などでの議論も踏まえ、どのような形が望ましいのか検討してまいります。

自治会長連絡協議会の組織については、持続可能な形へ変更するため、現在自治会長連絡協議会理事会で議論を始めており、検討を進めてまいります。

なお、アンテナショップについては、地域再生マネージャー事業の一環で設置の可否を含め検討しているところです。

また、令和5年10月8日に町民スポーツ祭を予定しておりますので、奮ってご参加ください。

尺代、山崎柴田、東大寺、若山台、若山台第2住宅、若山台第三住宅、ユニライフ山崎、百山、南百山

(1) テーマ1 自治会の役割とは

若山台：自治会の役割には、「安全（防災・防犯等）」、「住環境（ごみ出し方・物理的住環境の維持等）」、「親睦・行事」の3つがあると考えている。「親睦・行事」についてはコロナ禍で継続できず、今年も実施しないこととなった。「安全」については自治会参加者だけが対象ではないので、自治会が担う役割なのか疑問に思う。「住環境」についても、ごみの分別は自治会だが、建屋の管理や回収箱の設置は管理組合の役割となっており、自治会と管理組合の繋がりがよくわからない。

尺代：防災の部分では消防団がメインで動いているが、消防団が動けない場合は自治会の役員が手伝うことになっている。地域内でさらに6つの町に分かれており、ごみの回収箱を設置は町が当番で回している。親睦・行事はコロナ禍でできておらず、御頭祭も3年間できていない。御頭祭は高齢化で人が集まらず藁を叩いて綱を作ることも難しい。高齢者の人たちにいかに楽しく安全に暮らしてもらえるかが課題である。

若山台：親睦・行事が継続されている自治会はあるか？

ユニライフ山崎：昨年から清掃活動は復活しているが、今年は夏祭りを再開しようと考えている。夏祭りは自治会が主催していて、スタッフには自治会役員だけでなくボランティアも集めている。ユニライフは、ユニライフ山崎、ユニライフ山崎 C 棟、ユニハイム山崎と分かれており、3か所それぞれに自治会及び管理組合があり、行事や活動も別々で行っている。

尺代：自治会主催の行事は、府道柳谷線や尺代水路の清掃がある。月1回の諏訪神社の清掃には、高齢者の方のほとんどが参加している。

百山：百山には自治会主催の行事がなく、唯一参加していた町スポーツ祭は、去年は不参加だった。宅地造成した頃と比べて子どもが少なくなり参加者がいない。現在スポーツ祭に参加するかどうかのアンケートを取っているが、参加しないと行事がなくなってしまう。自治会役員は1年交代なので求心力を集めることが難しく、何かを変えようというパワーが生まれにくい。

尺代：尺代では、行事を復活してほしいという意見と、そろそろ潮時ではないかという意見がある。

若山台：住民が自治会に対して期待をしていないと感じている。島本町はベッドタウン化しており、マンションや集合住宅にいる人からすると、コミュニティへの期待というのはないのではないかと思った。自治会は在るべきという考え方ではなく、実態にあった形に変えていくべきではないかと思っている。

エライフ山崎：災害が起きたいざというときのために日頃何ができるかが、自治会の存在意義だと思う。何かが起こったときに下地がなければ何もできない。

若山台：自主防災の取組としては水や食糧の備蓄を行っているが、どのくらいの数を準備すればよいかわからない。

エライフ山崎：自治会での備蓄には限界があるので、自治会から各家庭での備蓄を促していくことも大事である。

尺代：尺代では、自治会の役員が一人暮らしの高齢者に対して台風時などに避難をすかどうか確認している。何かあったときのために、どこにいるかという情報は把握している。

(2) テーマ2 自治会役員の負担軽減について

若山第2住宅：自治会と管理組合が役割の分担で揉めることがあり、今後ひとつにまとめていくことも考えた方がよいのではという意見も出ている。隣人や上の部屋の方を知れるようになるのが大事。周りの目があり、お互い協力することで防犯面も強化できると思う。

若山台：気持ちの負担はあるが、行政の下請け仕事の他にはそこまで仕事はないことから、今期中に自治会と管理組合を合体したいと思っている。

エライフ山崎：自治会長はなり手がおらず、仕事が集中するときがある。個別の仕事としては自治会長・会計・副会長があるが、その他の役員は月1回の会議に出席してもらっただけなので、そこまで負担は大きくないと思う。

百山：会長は1回やれば、次は回ってこないようになっている。役員が負担になっているという声はあまり聞こえてこない。コロナ禍で集まれなかったのでメールでの

やりとりをしている。

若山台：役場の窓口を一本化できないか？縦割りではなく横断的に対応できるようにしてほしい。

町長：他市の事例を参考に自治会ごとに担当職員を決める仕組みを検討することはできるが、各業務については所管部署が決まっており、基本的に職員は他課の業務をすることできない。

エライフ山崎：自治会の窓口は政策企画課なので、政策企画課に連絡をすれば内容に応じて担当部署に繋いでくれる。各担当課からの依頼は、政策企画課を通じて自治会連協に依頼があり、連協でOKを出している。

町長：人員の問題もあるため、政策企画課がどこまで伴走できるかはわからない。

エライフ山崎：役員は基本2年連続でやってもらっている。続けてできる人は2年以上やってもらっているが、毎年半数程度は切り替わっている。

若山台：自主防災の集まりに出たら、過去に経験されている方が出ている印象だった。若山台は1年で役員が変わるので、わからないことが多い。

尺代：選挙で役員を選出している。各世帯で3名推薦したい人の名前を書いて出す。自治会長も役員も任期は2年だが、自治会長は2年やったら休み、他役員は4年継続した場合はその後2年休むことになっている。

若山第三宅：今は役が当たるということで自治会をやめる人が多く、行事が進まない。どうやったら再び自治会に入ってもらえるかを考えることが役員の使命だと思っている。

(3) テーマ3 構成員の高齢化、自治会未加入者について

東大寺：かつて役員選挙は投票でやっていたが、どうしても現職に投票する流れになってしまい役員の高齢化が進む。現在は規約を改正して、選挙ではなく各組長で話し合っただけで役員を決めるようにした。十数年前に分譲住宅300戸ができて、昔からの住民と年齢層が分断された。西国街道沿いは旧村で昔からの住民が多く、どうやって若い世代と交流していくかが課題。新規加入を期待しすぎず、現状維持がよいと思う。若い人は自治会に入るメリットがないとやめていくが、やめる人を止めることはできない。

百 山：百山では支出がほとんどないため、会費の徴収を5年間止めている。

東 大 寺：ごみ当番はエリア（20戸ぐらい）ごとに回している。自治会未加入者でもごみを捨てられる。自治会員でなくても税金払っている以上ごみを捨てる権利はあると伝え、加入者と未加入者が揉めないようにしている。

百 山：自治会に入らないという選択肢がないので、自治会に入らないとごみを捨てられないという感覚。自治会加入を促すきっかけとして、ごみを捨てられるかどうかはあるかと思う。

若 山 台：自治会は昔から住んでいる人が入っていて、新しく来た人が入らない印象。

若山第三住宅：構成員は高齢者が多い。

東 大 寺：役員は14人。自分と同じ年代は4人、他は比較的若い。分譲住宅に住んでいる世代が若いので、若い世代に負担をかけないようにしている。連絡手段にLINEを活用する話も出ているが高齢者も多いので課題もある。

百 山：百山は世帯の入れ替わりが少ない。会長・副会長には旦那さんが出てきている印象。

若山第二住宅：高齢化で役員ができないことを理由に自治会を脱退する方がいる。

エニライフ山崎：自治会の紹介パンフレットを作成し、勧誘のときに渡すようにしている。

若 山 台：役員の選出はどのように決めているか？

若山第三住宅：年齢や役員経験などは関係なく、くじ引きにしている。

エニライフ山崎：役員をやってくれそうな班長に事前に声をかけている。役員を担う年齢を75歳までと制限している。1年間役員をやって何をするかわかってくるので、できるだけ複数年でやる方がよいと考えている。

東 大 寺：全45班の組長に、割当を伝えてどの役職にするか選んでもらう。

（4）テーマ4 地域の課題について

若山台：自治会と管理組合を合体するとなった場合、自治会は任意の団体、管理組合は強制の団体なので財布を分けないといけない。

山崎柴田：集会所が築40年ほど経過しており、雨漏りが発生した。雨漏りした箇所と併せて壁も修繕し、修繕費用は150万円になった。繰り越した会費があったので修繕できたが、今後、さらに不具合が出てきたりした際、町から修繕費を出してもられないので財源をどう賄うかという課題がある。

尺代：尺代は公会堂なので完全自治会管理。雨漏りの修繕見積を出したら200万円と言われたが、町からの補助は出ない。自治会員が少ないので自治会費も集まらない。

東大寺：分譲住宅ができたときに、開発業者に集会所を作ってもらった。管理人を雇っており、回覧板なども回してもらっている。集会所では備蓄品（水・食糧）の保管は約70人分している。5年保管が終わったら残った分は防災訓練で配布して、循環をさせている。簡易トイレの準備もしている。役場が集会所の収容可能人数を決めているので確認して、それに応じた備蓄品を備えることにしている。

山崎柴田自治会付近で造成が始まっているが、住民の迷惑にならないように作業車がどの道を通るかなど、町に開発申請あった際にどこまで指導をしているかが知りたい。

（行政補記）

開発指導要綱に基づく事前協議において、事業（計画の策定、工事の施行等）を進めるにあたって、できる限り早い時期から、地元自治会、地元水利組合及び隣接地、対側地等の施行区域周辺の住民等と、計画内容及び工事内容（工事工程、工事車両のルート、交通安全対策等）等について、十分調整を図り進めるよう指導している。

また、工事車両の運行ルートについて、できる限り近隣住民への影響が少なくなるルートを検討するよう指導しており、近隣住民等からの意見等があった際には、速やかに事業者伝えるなど、対応している。

エライフ山崎：スーパーを建てるときに、住民説明会をして事業者と直接やりとりをした。

東大寺：一般住宅の分譲に関しては、開発事業者と話をするのが難しい。町で事業者に対する条件や規制を設けてほしい。町が事業者に対して許可を出すと、それ以降に地元住民が事業者に対してどうこう言っても対応が変わることがない。

（行政補記）

開発指導要綱において、近隣への影響が大きい、300平方メートル以上の開発行為、延べ面積300平方メートル以上の建築行為、中高層建築物の建築行為、福祉環境整備施設の建築行為等を行う場合には、町との協議の前に、影響範囲の関係住民や自治会長への計画説明を指導している。

また、事前協議制度を設け、要綱及び同施行基準等に基づき必要な指導を行っている。

楠、青葉会、青葉ハイツ、桜井台、桜井、御所の内、桜井西側、向陽ヶ丘、シャルマンコーポ水無瀬

(1) テーマ1 自治会の役割とは

御所の内：初めて会長を務めた。自治会の役割についてネットで調べると「地域の親睦」など出てくるが、突き詰めれば防災と防犯の2つ。命にかかわるこの2つの活動に特化していこうかと考えている。今日のテーマ①～④はすべてこの2つに集約されると思う。

楠：「行政との窓口」「他の団体との窓口」この2つができればよいと思う。防災などに関しては、大きな役割を求められても小規模自治会では対応できない。行政など外部との繋がりが維持できればそれでよいのではと思う。

桜井西側：自治会が何をしているのか、一般の住民には伝わっていないように思う。自治会内で伝える方法もいまは回覧板しかない、それをどのようにするかも課題。自治会に入れば、色々な情報が得られる、ということになればメリットになり得ると考える。

青葉会：近隣でのマンション建設に関し、事業者の現地説明会が開かれた際、普段は静かな会員が、課題意識をもって発言されていた。地域に課題があることで団結感を生むとを感じる。また、地域内で空き巣が入ったことを受け、高槻警察防犯課に来てもらい会員を集めて説明を聞いた。

各会員がどのようなことを考えているのか分からないと感じ、新たな試みとして自治会ブログを作った。福祉委員が各家庭を回ってくれているが、自治会役員も各会員の状況を把握し、退会した会員とも関係を維持する努力をしていきたい。

向陽ヶ丘：自治会がなければ地域が回っていかない。行政との窓口としての役割があり、個人が頼むのと自治会として頼むのでは、行政の対応も異なる。一斉清掃についても、自治会がなければ皆で集まってできず、草茫々になってしまうだろう。

(2) テーマ2 自治会役員の負担軽減について

向陽ヶ丘：会長としての自分のテーマは「小さな自治会をめざして」。役員の負担軽減は大きな課題。班長以外に5つの役割があるが、高齢で記憶力に課題のある方な

どは、担える役割が限定される。福祉にあたった方も高齢で月2回のお弁当配りができず、会長が半分請け負うことに。弁当は車でなければ取りに行けず、担える人が限られる。

これは提案であるが、お弁当ではなく、お菓子など日持ちするものに変えれば、平日でなくても配れるのではないかと思う。

(行政補記)

配食サービスについては、ご意見を踏まえ実施主体である社会福祉協議会と課題の共有を図ってまいります。

シャルマン：既存の役員、今後もすべて維持する必要があるだろうか？

桜井西側：役員から具体的な活動内容に関する情報が会長にあがってこない。情報が入ってこないと、必要性なども判断できない。まずは自治会内部での情報共有が必要と考える。

青葉会：最大の問題は、1年毎に役員全員が入れ替わること。役員が一巡するのに約10年かかる。歴代の会長は丁寧な引継書を作られているが、防災や防犯といった大事なところを担う人も1年で変わってしまうので、そこは委員会制にして、もう少し長期間担うことを構想している。

会長は、誰がなっても良いと思う。防災・防犯、福祉、イベント関係の3本柱がしっかりしていれば、会長は誰でも回っていく。

シャルマン：相対的に必要性の低いところは薄くして、必要性の高いところに注力するような取組も必要ではないか。

楠：役員は4人 会長、会計、集会所担当、福祉委員。会長が防犯委員と廃棄物減量推進委員を兼ねる。行政が関わっている委員は、形式的な内容が多いと感じ、会長兼任とした。定例的な総会や勉強会などであるが、回覧で済むと思うような内容も多い。福祉委員は重要だと思っている。

自治会長連絡協議会も同様に、会計等の役職はあるが、実務は行政がやってくれている。町の方でも、形式的なものは減らしていただくよう検討をお願いしたい。前例踏襲はやめる時代だと思う。そうすれば、自治会の充て職負担も軽減されていくだろう。

(行政補記)

自治会長連絡協議会の組織については、持続可能な形へ変更するため、現在自治会長連絡協議会理事会で議論を始めており、検討を進めてまいります。

防犯委員会等の会議についても、内容に応じて書面開催とするなど、可能な見直しに努めてまいります。

(3) テーマ3 構成員の高齢化、自治会未加入者について

桜井台：かなり高齢化が進行している。亡くなられる方もある。坂が上がりにくい方は他所に移られる。これは自治会がどうできる問題ではないが、空き家ができてくる。空き家の点検、外見でひどい状況になっていれば行政に連絡しなければならない状況にもなりつつある。

転入者の中には自治会に入らない人もいる。地域との関わりに興味がない方もあり、手が打ちにくい、加入のメリットをどのように作っていきけるか、ということを役員で話し合っている。

島本高校の廃校に伴う跡地の関係でも、自治会がなければ地元としての対応はできないだろう。

役員は選挙で決めているが、いつも同じ人が選ばれる。そこで前会長が考えたのは三選禁止。役員負担が分散することになり、退会者も出るだろうが、同じ人が担い続けるのは問題。

青葉ハイツ：14棟あり、各棟から必ず役員を選出しなければならない。80代以上で携帯を持っていない方もおられ、手紙か電話で連絡している。LINEグループを作ったが、良し悪しあると感じている。情報を流すことはできるが、既読は付くが理解してくれているのだろうか？という不安もある。

コロナ禍でイベントができていない。今年、夏祭りをやろうという流れになり、紙とグーグルフォームでアンケートをとった。フォームの回答が10件あったが概ね消極的で、理由は役員負担。可能であればそういう催しはなくてもいいのでは？という意見も散見された。

子ども会、最盛期は100人以上いたが現在は25人。役員は4人しかおらず、少ない人数で回せる活動にしている。

シャルマン：先ほどの動画のように、役所の窓口で自治会の紹介をしてもらうのも一案ではないかと思う。また、経験上、子ども会世代を巻き込むと、自治会活動が回しやすくなると考えている。

(行政補記)

転入者あての資料に、自治会加入案内チラシ、自治会区域図を添付するように進めてまいります。

(4) テーマ4 地域の課題について

御所の内：高齢化と加入者減。うちの自治会としてどう打ち出していくのか、何が一番大事なのか。入ってもメリットないし、入らなくても困らない。回覧の数を減らそうが根本的な課題は解決しない。10年後、自治会はあるのか。自治会が存続できるかどうか、という状況。

楠：今後数年間はNTT社宅跡地のことに向き合うことになるだろう。当自治会の隣接地は更地のままであり、今後どうなるのか注視していく。この件で青葉会、青葉ハイツ自治会と連携する機会もできた。今後も意見交換の機会が持てればと思っている。

青葉会：NTT社宅跡地の件、西国街道に工事車両が入ってくることなどを心配する声から会員から寄せられている。町は事業者任せにしており、事業者は一通りの説明はしてくれるが、開発担当課にも出てほしいと頼んだが、前向きな回答は得られない。また、ハザードマップが何種類にも分かれており一つに纏めてくれと頼んだが、明瞭な返事はもらえなかった。

(行政補記)

開発指導要綱に基づく事前協議において、事業(計画の策定、工事の施行等)を進めるにあたって、できる限り早い時期から、地元自治会、地元水利組合及び隣接地、対側地等の施行区域周辺の住民等と、計画内容及び工事内容(工事工程、工事車両のルート、交通安全対策等)等について、十分調整を図り進めるよう指導しています。

また、工事車両の運行ルートについて、できる限り近隣住民への影響が少なくなるルートを検討するよう指導しており、近隣住民等からの意見等があった際には、速やかに事業者へ伝えるなど、対応しています。

なお、職員の出席について、町全体のまちづくりに係る計画などの場合は職員出席のもと町で説明を行います。個別の開発事業については事業者において説明を行っていただいています。

ハザードマップについては、洪水・土砂災害、地震、内水、ため池と、種別ごとに作成しておりますが、これらを一つの冊子にまとめて配布している自治体もありますので、本町においても今後検討してまいります。

桜井台：島本駅西地区に関し、地域在住の開発関係に詳しい方から、この道路ではもたないという意見があった。役場にも伝わっていると思うが。

青葉ハイツ：外国人の入居者が増えてきた。自治会には加入していない。治安上の課題が起こっている訳ではないが。

シャルマン：増えてきているのは事実。いまは情報だけ共有していければ。

桜井：自治会の横の繋がりが無い。各自治会の会員数などを一覧表で共有してもらえればと思う。情報を出せる範囲で良いので。

(行政補記)

この要点録と併せて、自治会長あてに世帯数を含めた一覧を配付いたします。

桜井台：地域内に何か所かごみ置き場があり、当番を決めている。高齢化もあり、収集後の清掃がしんどくなっている。ある日、つらそうに作業している高齢者を見かけてお手伝いしたが、後日その方は亡くなった。しんどくても当番を飛ばしてください、と言えない人もいる。いつまでもつのだろう、と不安に感じている。

御所の内：摂津市では、自治会費を上げて個別回収しているという話をきいたことがある。

楠：当自治会は30世帯しかない。自治会に入っていないなくても、ごみ当番はしてくださいと言っている。また、当番のグループを作り、グループ内の話合いで、役割を分担したり、当番を飛ばしたり、ごみ出し支援をしている。この仕組みでいまのところトラブルはない。

水無瀬、大同、江川、高浜、高浜西、ニュー高浜、新水無瀬万葉

(1) テーマ1 自治会の役割とは

ニュー高浜：以前、防災活動は別の活動だと言っていたが、防災活動を中心にしてはどうか。

高浜西：自分は全然次回の活動を知らなかった。若い世代には内容も分からない。引継ぎができていない。会長になって思ったのは非常に面倒くさいことが多いということ。さらに会員からのダメ出しも多くもらって、そんなに意味があるのか。高齢者の見守りは非常に大事なので別の形でできるのではないか。違う形にしないと若い人が参加できない。もっとわかりやすくしておけば若い人も参加しやすいのに。

高浜：自治会の活動は昔からの人が支えてきたが、昨今加入者はどんどん減ってきている。昔は地域の中でも地域全体を見てくれる人がいた。そういう人を育てるのが自治会だと思うが、もっと長くやってみないとわからないし、もっと勉強をしないと自治会とはどんな役割なのかはわからない。

水無瀬：自治会活動が嫌だという人をどうやって引っ張っていくかが自治会長の役割。

高浜：自治会が何をやっているかわからない。町との関係で何かやっているのはわかったが、コロナでほとんど活動がなかった。役員会を開いても意見がほとんど出ない。僕が一人で意見を言うだけで会自体の意味がなかった。

江川：一般的には自治会の活動は地域の交流が大前提。うちの自治会は集合住宅と戸建てであるが、戸建てが抜けていく。理由は何をやっているかわからないということ。自治会は何か特別なことをするというよりは、皆さんがやりたい事を集約することだと思う。昔はイベントも盛り上がったが、防犯の取組は顔見知りになるだけでも意味があるので、イベントをして交流したいが、それも今はできていない。自治会は地域の交流の場であるが、自治会はみなさんのやりたいことを集約する場にしていきたい。

大同：60年やっている。昔は長老がいて仕切っていた。年1回で会長、役員が変わる。幸いに年長者クラブや自主防災会があるのでそれらをまとめる役割が自治会。防災訓練などでは世代間交流のイベントをできるだけやるようにしている。いままで安全安心なまちをつくってきた。持続可能な自治会活動をしてくには、会長が

1年で代わるのでは、なかなか実行できない。自治会は何をしている団体なのかをまとめてわかってもらうという活動を進めている。

万葉：万葉という名前はマンション名から来ている。当自治会はマンションと戸建てがある自治会だったが、数年前にマンションの住民はみんなやめた。その時にみんなで話し合ったことは、自治会なくなったら何が困るか。ごみ当番どうなる？災害の時どうなる？それぐらいしか思いつかなかった。私自身も。ごみと災害のことを考えて自治会に残る人が出てきた。戸建てでやめた人は1件だけ。万葉という名前を残しているのはマンションの住民が戻ってきてほしいから。単身赴任の人とか、2、3年で出ていく人が多いのでメリットがないのかな。

水無瀬：20年自治会長やっているが、本当に困っている。前の自治会長は死ぬまでやっていた。自分もかもしれない。賃貸の住民はなかなか入ってもらえない。マンションの管理人も仕事でやっていたが、東日本大震災で考え方が変わったように思う。情報収集が必要だということでマンションでも自治会組織を立ち上げた。一方、うちの自治会ではコミュニケーションをどうとっているかが課題となっている。葬式のときが問題。誰が死んだのかわからない場合がある。わかった場合は通達を出している。食事会も年1回やっている。昔は運動会とかもやっていたが、今はそこまで勢いのある人がいない。自治会の役割という話があったが、困ったときにつながりや連携があることかということではないか。それをどうやって維持していくか。10年前に災害があった。自治会で意見を出して議員にも伝えて雨水幹線が前倒しで整備された。その時に意義を感じた。若い人に年2400円払ってどういうメリットがあるのかと聞かれるが、なにか起こったときに誰も助けてくれないよと言ったら加入について考えてくれる。

(2) テーマ2 自治会役員の負担軽減について

ニュー高浜：一斉清掃で回覧板を回したがクレームきた。集合時間を8時か7時かで迷ったとのこと。町からのお知らせを流用して自治会のことも記載できるようにしてほしい。

(行政補記)

次回12月の一斉清掃のチラシから自治会の自由記載欄を設けさせていただきます

高浜西：町の一斉清掃に合わせて自分の地域を掃除するということか。

ニュー高浜：そうだ

高 浜：引継書を読まないとい人も教えてくれない。負担軽減という意味では引継ぎをしつかり教えてほしい。会員にもわかってもらえるような活動をしなさいといけない。そのためには、それを支えてくれる人を増やさないとけない。役員をやめた人はそれで終わりとなってしまっている。

水 無 瀬：副会長に若手を入れて引き継ごうと考えている。新しい方に役を振っていかうと思っている。自分の時は先輩の人に聞きにいてやっていた。役員は1年では務まらない。最低任期を3年ぐらいいないと。地蔵盆などでも新しい人を入れてやり方を引き継いでいかないと負担軽減どころか負担が増えていくことになる。

江 川：集会所にあった15年前の写真をみたら半分くらいいいなくなっている。一番バリバリやっていた時の会則が残っているが、実情に合わなくなっている。定年が長くなって70歳まで自治会に来てくれないので、次の人がなかなか現れず、負担が減らない。充て職もすべて断ったが一つだけ残っている。現役の人もいるが、なかなか現役の人に役員になってもらうのは難しい。

水 無 瀬：私も去年まで働いていた。昔の自治会長は悠悠自適の人が多かったが、いま働きながら会長をするのは大変だ。

大 同：役員は緊急で対応できるようラインでやっている。回覧を極力減らしている。

万 葉：以前は戸建てとマンションで交代して会長を出していた。あるとき高齢化でできない人が出てきた。その時期にマンションの人が大量にやめた。負担が大きくてやめたのだと思う。機械的に会長を決めていたのが悪かったのか。前の会長は長くやっており、その後私に会長職が回ってきた。そのときに周りを見てみたが、若い人もいるが、いま仕事がついので到底まかせることはできなかった。副会長はおいていない。私も定年なのでできるとしてやっている。いつまでやるのか聞かれることがあるが、次の人が見つかるまでやると言っている。会議など時間的なしんどさはあるものの、心理的なしんどさが大きいと思うが、実際やってみてそうでもないなので、もうちょっと自治会長はそんなにしんどいものではないよということを書いていきたい。

(3) テーマ3 構成員の高齢化、自治会未加入者について

高 浜 西：未加入者には高齢者が多い。あと会費は払うが役員にはならないという人が多い。役員やって次の年自治会を抜ける人がいた。面倒くさいことがわかって。若い世代にもっと自治会に興味を持ってもらわないといけない。もっとアピールしていかないとけない。

高 浜：自治会は昔の人の会になっている。昔の人は協力的だが、新しい住宅の人は募金なども消極的だということが会長になってわかった。会長になって自治会に入っていない人がいるということがわかり驚いている。新しく建った住宅に誘いに行くにも、すでに何年も経っていたり、メリットを十分説明できないので勧誘に行きにくい。いま建設会社には新しい住宅を建てる際には自治会に必ず入るようお願いしている。

江 川：公営住宅法では公営住宅の街路灯や水道の経費を個人に負担させてはならないとなっていることから、自治会で支出している。そのため、公営住宅に住んでいるほぼすべての方が自治会に入ってもらっている。

大 同：自治会がどんなことをやっているのかチラシを作成して、新しい家にポスティングしている。

万 葉：私自身が高齢になっているが高齢化の何が問題なのか。未加入者の問題はなかなか難しい。いったん脱退した人を再度加入してもらおうということはかなり難しい。2年会長やっているが、顔を知られていない。人間関係がかなり薄くなっている。年2回の溝掃除と公園草刈くらいしかないので交流が薄くなっている。

水 無 瀬：1件の家の敷地が大きく、2個一にして売却される。その際に不動産会社に自治会の加入を促すようお願いしている。そのため3件ほど加入してくれた。賃貸は入れ替わりが激しいので会費は返すので、とりあえず入ってもらっているが、地域に根づく意識が低い。子どもさんはできるだけ島本で住んでくれとお願いしている。

(4) テーマ4 地域の課題について

ニュー高浜：独居老人宅に訪問販売員が家に上がり込み見積もりも取られるという事案があった。高齢化がうちの課題。

高 浜 西：自治会活動自体を見直すことが大事。まとめ役がない。自治会連協の役割はなにか。指示を出してほしい。大同さんの資料を見て、こういうのをみんなに教えてほしい。自治会費を出して第三者機関に資料をまとめてもらうとか情報集約などの委託をすることにより、役員の負担軽減につながり若い世代にも入りやすいことになるのではないかと。新しく自治会長になる人とベテランでされている人との橋渡しの役割やまとめ役がいたほうがいいのではないかと。

(行政補記)

自治会長連絡協議会の役割は、自治会町様同士の意見交換の場を設け、自治会の課題などを情報交換していただくことや理事会を定期的開催し、自治会補助金の在り方などについて協議を行っております。コロナ前には管外研修なども毎年行っており、先進自治体の取組などを視察するなど、自治会町様同士の交流も含めた先進事例の調査・研究なども行っておりました。(コロナウイルス感染症拡大により令和2年度以降管外研修は実施していません)

自治会長連絡協議会の役割は、指導や指示をするものではありませんが、コミュニティの在り方に対する調査・研究や自治会運営に関する意見交換、自治会町様同士の交流の場としての役割を担っているものと考えております。

また、大同自治会が実施されている自治会の活動がわかるチラシの配布について、自治会長連絡協議会でも、「一緒に自治会活動をしませんか？」という一般的な自治会の活動を記載したチラシを用意しておりますので、政策企画課までお問い合わせください。

高 浜：上の人がやる気ない。上の人がやらないと下の人がやらないし新しい人がやらない。自治会の取組に対して理解してもらおう取組をこれまでしてこなかったから、今みたいになっているのでは。

水 無 瀬：大同みたいに前向きに色々やっているところはそれに引っ張られているんな活動が出てくる。連協には決定権などはないが声をひろって行政にあげていくことはできる。

高 浜：麦を植えたら勝手に取られて後でとったでといわれた。わらも勝手に取っていかれる。学校でレンゲや田植え体験の協力をしているが、レンゲは景観作物を利用して肥料にしているのに、児童にレンゲをとられて非常に困っている。学校がわかっていない。目的をわかって協力を依頼してきてほしい。

(行政補記)

学校側にお伝えしました。